

工事解説

基礎躯体工事の流れを説明します。

撮影日 2012.7.31

杭頭補強筋

杭と基礎をつなぐ鉄筋を溶接します



アンカーボルト

鉄骨柱と基礎をつなぐ鋼鉄製のアンカーボルトを取り付けます。



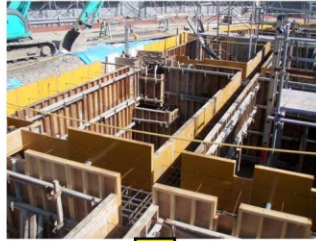
鉄筋工事

基礎と地中梁の鉄筋工事を行います。基礎・地中梁の種類によって使用する鉄筋の本数径が異なります。



型枠工事 (地中梁)

コンクリートが硬化するまで保持する型枠を組み立てます。今回の地中梁は高さが約2.2mもあります。



コンクリート打設 (地中梁)

組み立てた型枠の中にコンクリートを丁寧に大人数で流し込んでいきます。今回は1階床下までのコンクリート打設となります。



デッキ・断熱材敷き込

地中梁のコンクリートが硬化したら、型枠を解体しその上にデッキを敷いていきます。更に、デッキの上に断熱材を敷きます。この断熱材は、冬季に1階床が冷たくなるのを防ぐに活躍します。



1階床鉄筋工事

1階床の鉄筋工事です。同時に設備関連の工事も進んでいきます。



コンクリート打設 (1階床)

最後に1階床のコンクリート打設をし、床を平坦に均して完了です。暑い為コンクリートの急激な乾燥を防止するために硬化途中で散水を行います。



【基礎躯体工事について】

今回は基礎躯体工事の手順について紹介します。今回の基礎工事は3つの工区に分かれておりそれぞれの工区で左図のようにそれぞれの工事が進んでいきます。